

東区医療介護ネットワーク協議会 研修会
東区地域ケア連絡協議会 第193回例会



「ACPの光と影」を理解し、 地域へバトンを繋ごう

日時

2019年11月2日(土)
10:00～12:00

場所

東区民センター 2階大ホール
(札幌市東区北11条東7丁目1-1)

参加費

無料
★申込みは必要ありません。

プログラム

- 9:30 ● 受付開始
- 10:00 ● 開会の挨拶
- 10:10 ● 講演 川口 篤也 先生
「ACPの光と影」
- 10:40 ● 講演 宇都宮 宏子 先生
「本人の思いを医療・ケアにちゃんと
反映していますか?～ACPを3つの
ステージで理解しよう～」
- 11:10 ● ディスカッション
- 11:50 ● 閉会の挨拶

講師のご紹介



道南勤医協 函館稜北病院 副院長
総合診療科・科長 川口 篤也 先生

平成15年 北海道大学 医学部卒業。平成16年勤医協中央病院にて初期研修をスタート。苫小牧、釧路、東京医療センター 総合内科等で研修した後、勤医協中央病院 総合診療センターを経て、平成28年4月 道南勤医協函館稜北病院勤務。

最近では、その人らしい生き方・逝き方を実現するための医療・介護のスタッフの関わり方や、意思決定支援の方法として治療の目標、本人の価値観、考え方に焦点をあてた「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」の重要性について、精力的に発信・講演活動を行っている。



在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス(京都府)
宇都 宮宏子 先生

昭和55年 京都大学医療技術短期大学部 看護学科卒業。

その後、大阪・函館・高松の医療機関で看護師として勤務、高松の病院で訪問看護経験し、在宅ケアの世界に入る。病院から在宅に向けた専門的な介入の必要性を感じ、平成14年7月より、京大病院で「退院調整看護師」として活動。平成24年4月独立起業。「在宅ケア移行支援研究所」を立ち上げ、医療機関の「在宅移行支援」、地域の「在宅医療コーディネーター」事業のコンサルテーションを行う。最近では、今後の人生をどう生きていくかを周囲の人と対話しながら、価値観や考え方を共に理解していき、共同の意思決定をしていくプロセスである「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」の重要性について、精力的に発信・講演活動を行っている。

共催 東区医療介護ネットワーク協議会
東区地域ケア連絡協議会

お問合せ 東区在宅療養支援協議会事務局
(札幌東訪問看護ステーション 担当:伊志嶺)

後援 札幌医師会東区支部・タッピーねっと

TEL:011-742-7966 FAX:011-742-8066